

研究課題名

ドクターカーにて搬送された患者における Direct-to-Angiosuite 体制整備への取り組み

（１）研究の概要

研究期間：2025 年 8 月 1 日～2025 年 11 月 15 日

研究責任者：川崎幸病院 救急外来 松形圭悟

（２）研究の対象

2024 年 1 月から 2025 年 5 月までの期間に行われた血栓回収治療の症例のうち、他院より紹介され、ドクターカーにて搬送を行った患者

（３）研究の目的

急性期脳梗塞に対する血栓回収療法（mechanical thrombectomy）は、有効な再灌流が得られた場合、神経学的予後を大きく改善することが知られている。しかし、その治療効果は来院から治療開始までの時間に強く依存しており、特に来院から血管再開通までの時間短縮（door-to-reperfusion time, DTR）が重要とされる。

当院では、他施設において血栓回収療法の適応があると判断された患者に対し、ドクターカーを出勤させ、搬送と同時に治療準備を行う体制を整えている。ドクターカーによる搬送には、専門医が搬送前に治療適応の判断を行い、搬送中にインフォームドコンセントや治療準備を進められるという利点がある。

本研究では、これまでの搬送・治療体制を見直し、搬送前または搬送中のインフォームドコンセントの取得、当院到着後の不要な検査・処置のタイミングの変更、搬送中の情報共有体制の整備を行い、初療室を経由せずにアンギオ室へ直行する Direct-to-Angiosuite（DTA）体制を構築した。

本研究では、DTA 体制の導入における取り組みとその有用性について検討する。

（４）研究の方法（研究に使用する試料・情報の項目を含む）

当院で過去に血栓回収療法を行った患者をカルテやオーダーリングシステム上に保管されている患者診療記録をもとに後ろ向きに情報を抽出して検討する。

* 評価項目

①主要評価項目（primary outcome）

治療に関わる時間（来院から穿刺までの時間、穿刺から再開通までの時間）、治療成績（TICI、退院時 NIHSS）

* 観察および検査項目

- ・ 患者基本情報：年齢、性別、既往歴、家族歴、アレルギー歴、嗜好歴など

*** スケジュール**

患者情報の抽出 → データの整理 → 統計解析の施行

*** 解析方法**

入院加療を行った患者の治療成績に関連する因子・危険因子を調べるため統計学的解析（カイ二乗検定、t検定、線形回帰分析、ロジスティック解析など）を行う。また外科的治療群に対して、同疾患における内科的治療群や経過観察群を調査し治療成績などの比較を行う。

(5) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、個人情報関連法令・通達などを順守し個人情報の保護に努めます。

(6) 研究成果の公表について

この研究成果は、学会発表、学術雑誌などで公表する場合があります。
発表内容には個人を識別できる情報は一切公表しません。

(7) お問い合わせ先

この研究は、直接の同意はいただかずにこの掲示によるお知らせをもって同意をいただいたものとして実施されます。この研究への参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取扱い、その他研究に関するご質問は以下のお問い合わせ先へご連絡ください。

社会医療法人財団石心会 川崎幸病院 病院安全管理部 （川崎幸病院 倫理委員会 事務局）
〒212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町 31 番 27
TEL：044-544-4611（代表）